



青森県感染症発生情報 (2018年第31週)

I 第31週の発生動向 (2018/7/30~2018/8/5)

1. 手足口病については、五所川原保健所管内で**警報**が継続しています。
2. 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. ヘルパンギーナについては、県全体の定点当たり報告数が7週連続で増加し、特に東地方+青森市保健所管内と弘前保健所管内で定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。

II 第31週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ															0
小児科	RSウイルス感染症	2	0.25	4	0.44	5	0.50	8	1.60	3	0.50	4	1.00	26	0.62	9
	咽頭結膜熱	2	0.25			1	0.10	1	0.20					4	0.10	-11
	A群溶血性球菌咽頭炎	2	0.25	2	0.22	23	2.30			13	2.17	3	0.75	43	1.02	-3
	感染性胃腸炎	29	3.63	12	1.33	59	5.90	14	2.80	5	0.83	9	2.25	128	3.05	-2
	水痘			3	0.33	1	0.10	2	0.40	3	0.50			9	0.21	5
	手足口病	15	1.88	37	4.11	4	0.40	62	12.40	11	1.83	1	0.25	130	3.10	9
	伝染性紅斑	2	0.25			1	0.10							3	0.07	2
	突発性発しん	1	0.13	1	0.11	7	0.70	2	0.40	1	0.17			12	0.29	-4
	ヘルパンギーナ	29	3.63	27	3.00	9	0.90	4	0.80	4	0.67	6	1.50	79	1.88	42
	流行性耳下腺炎			3	0.33	10	1.00			10	1.67	1	0.25	24	0.57	2
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.09	0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															-1
	マイコプラズマ肺炎										4	4.00		4	0.67	-11
	無菌性髄膜炎							1	1.00					1	0.17	0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

デング熱 (四類全数把握対象疾患)

デング熱はネッタイシマカやヒトスジシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスの感染症です。2014年には国内での感染が確認され、また、2016年には海外から帰国した方がデング出血熱を発症し死亡する事例が発生しました。

デング熱は、突然の高熱で発症し、頭痛、眼窩痛、顔面紅潮、結膜充血を伴い、発熱は2~7日間持続します。初期症状に続き、全身の筋肉痛、骨関節痛、全身倦怠感を呈します。発症後3~4日目に、胸部、体幹から始まる発疹が出現し、四肢、顔面に広がります。これらの症状は1週間程度で回復します。なお、ごくまれに出血やショック症状を伴う重症型のデング出血熱もあります。

デングウイルスは、人から人へ直接感染することはなく、デング熱を発症した人の血を吸った蚊によって広がっていきます。蚊の行動範囲は狭い(50~100メートル程度)のですが、感染した人が移動することで、感染範囲が拡大します。

現在、デング熱には、国内で利用可能なワクチンや治療薬はなく、治療は対症療法が主となります。デングウイルスの感染を防ぐためには、媒介する蚊に刺されないこと、蚊の発生を防ぐことが重要な対策となります。



ヒトスジシマカ
(出典: 国立感染症研究所)

◎詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [デング熱について\(厚生労働省 HP\)](#)

🔍 デング熱 厚生労働省 [検索](#)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：東地方1人、三戸地方1人、上十三2人 （2018年計：120人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：弘前2人 （2018年計：15人）
- ・アメーバ赤痢（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人 （2018年計：2人）
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類全数把握対象疾患）：弘前3人 （2018年計：15人）
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：青森市1人 （2018年計：9人）
- ・水痘（入院例）（五類全数把握対象疾患）：五所川原1人 （2018年計：3人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：弘前1人 （2018年計：21人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：弘前1人 （2018年計：24人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。 報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第28週～2018年第31週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
28	H30.7.9 ~ H30.7.15		E型肝炎1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤ コブ病1人	レジオネラ症1人		
29	H30.7.16 ~ H30.7.22			百日咳1人			腸管出血性大腸菌 感染症1人
30	H30.7.23 ~ H30.7.29	腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人			
31	H30.7.30 ~ H30.8.5	侵襲性肺炎球菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症2人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症3人 梅毒1人 百日咳1人	アメーバ赤痢1人	水痘(入院例)1人		

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2018年第28週～2018年第31週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
28	H30.7.9 ~ H30.7.15		1	1	3		
29	H30.7.16 ~ H30.7.22	1	2	1	1		2
30	H30.7.23 ~ H30.7.29	1	2	1	1	1	1
31	H30.7.30 ~ H30.8.5	1		1		2	

- ・第30週に弘前保健所管内で結核2名届け出がありましたので追加しました。

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第30週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	12162	2	98	1501	18	12	249	587	7	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	3	1	2	51	1	1	93	73	111	2

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	24	3	2	1080	2	480	128	1002	18

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	426	11	120	425	723	41	286	25	2133	242

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	3820	100	64	36	3846	73	202	9

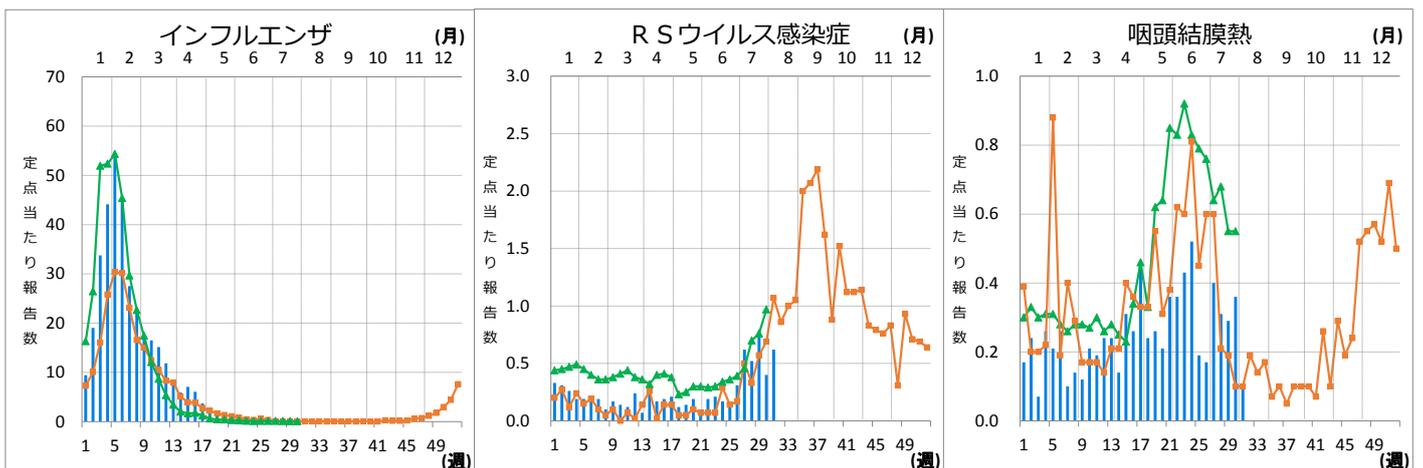
青森県（2018年第1週～2018年第31週までの累計）

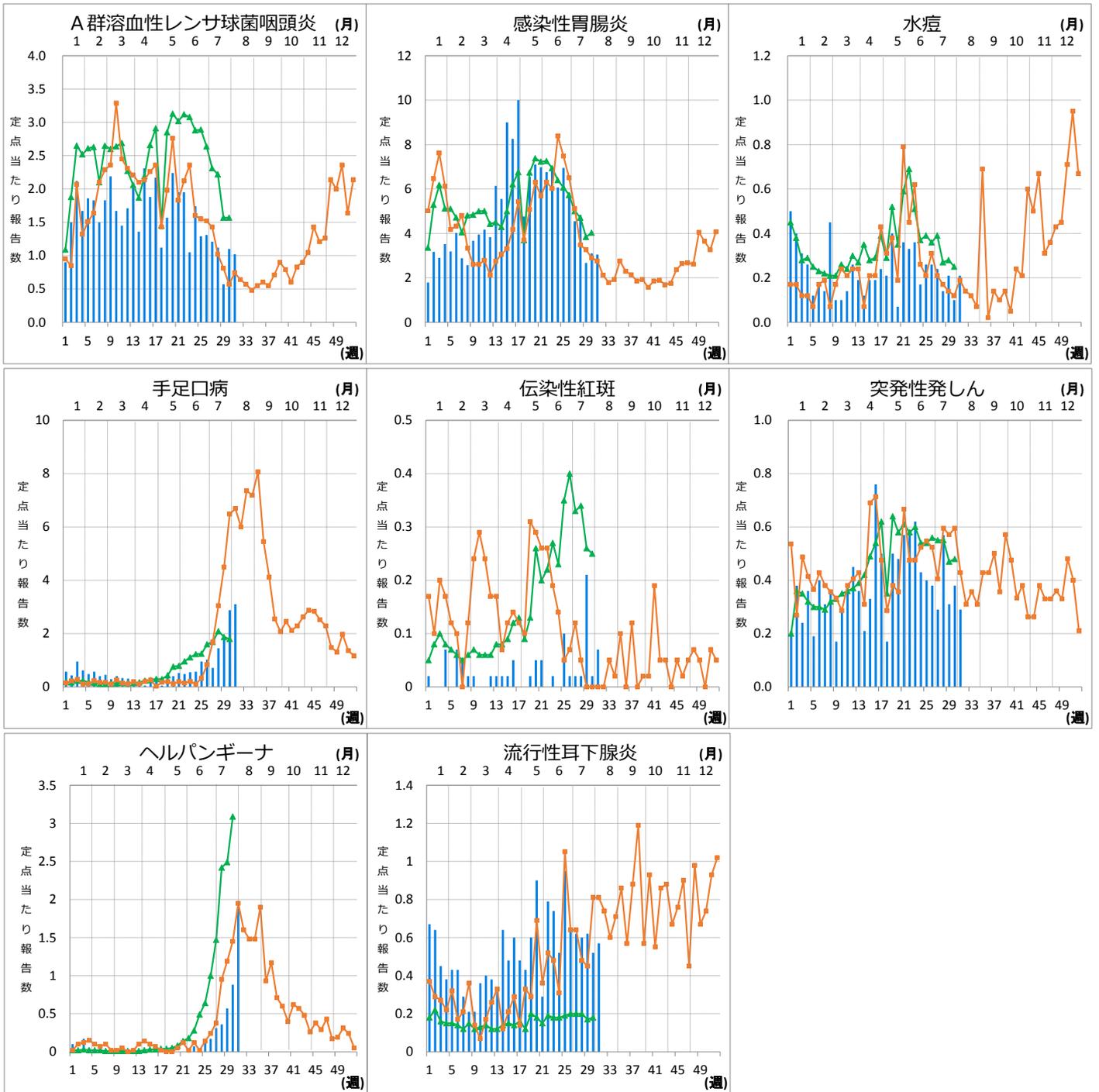
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	120	3	15	1	1	4	3	2	15	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	3	4	2	1	9	3	21	4	24

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第31週、ただし全国は前週）

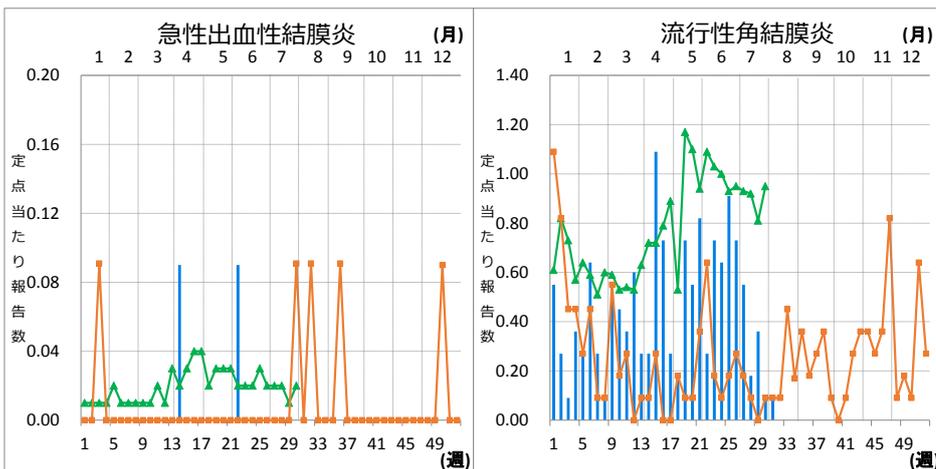
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





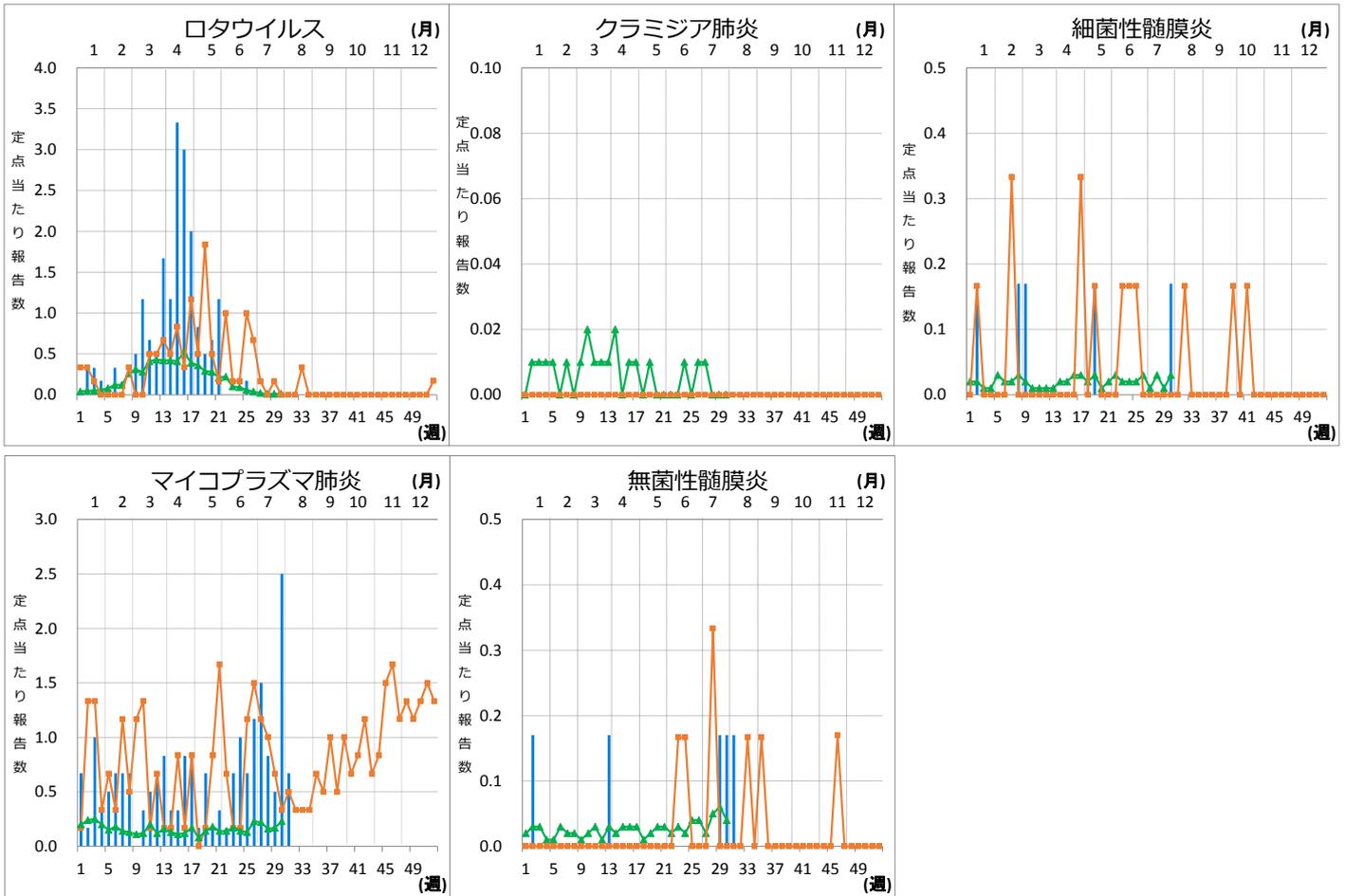
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第31週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第31週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第31週
報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	8
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	105
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	14
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	212